

平成 23 年度 第 4 回西成区区政会議 会議録 (要旨)

1 日 時 平成 24 年 2 月 29 日 (水) 14:00~15:40

2 場 所 西成区役所 4 階会議室 (4-3・4・6)

3 内 容

【案件】 () 内説明者、> 発言要旨

> 委員長：本日は、先日 15 日に西嶋区長をリーダーとする西成特区構想プロジェクトチームが設置されたこともあり予定を変更し、西成特区構想についてご意見をいただくこととしたい。

当初予定の地域経済活性化については、特区構想の中で意見を願います。

(1) 平成 23 年度事業評価について (白石総合企画担当課長)

> 区：23 運営方針に掲げている全事業について、事業担当が行った自己評価をつけ、事前に各委員・議員に郵送、回答していただいた。

最終的に、年度終了後に自己評価、区政会議の意見、所属としての総括を公表する予定。傾向でいえば「職員人材育成の取組み」「地域担当制の強化」「職員接遇力の向上」といった内部の研修的な取組みはどうしても評価を得られない (未評価 11~15 人) 事になった。

一方評価の高かった取組みは「ロビーコンサート」「西成区民デー」といった、大フィル・セレッソ大阪などと取組んだ事業が高い評価を得た。

「未来わがまち推進会議」「地域福祉アクションプラン」「緊急時要援護者支援」「種から育てる地域の花づくり」などには、共通する担い手不足や、人材育成等の課題への意見がある。

> 委員：「地域経済活性化事業がわがまち会議に含まれた事が残念」という意味は、区民主体で自分達でこんな事をやろうと決めるわがまち会議に、区役所の方から事業が下りてきたので残念と思えたという意味。薬物乱用防止の取組みは徐々に広がってきている。

> 委員：地域福祉アクションプランの一つの目的は、活動中でのネットワークづくり。ボランティアすごく活発に活動しており、金銭に換算するとすごい金額になると思う。

> 委員：健康づくりでは、結核対策を引き続き取組むので協力をお願いします。

> 委員：結核のフォーラムでは、会場でいい意見をいただいた。検診の受診と生活保護をリンクする事が重要。

>委員：大フィルのこれからについては予算も含めて心配されていると思うが、8月めどに府市統合本部で専門家を入れ評価をしてもらう事になっている。団体の価値自体が問われている。確かに今まで行政に依存的な部分もあったが、地元でどれだけ価値があるかきちんと示したい。

>委員：セレッソ大阪についてのイベント拡大の意見は歓迎。イメージアップに貢献し愛されるよう引き続き協力したい。

>委員：活動のPR不足かも。花づくり広場での講習会、天王寺動植物公園事務所と連携した緑化相談も、相談者が少なくなっている。広場で育てた花苗の種の無料配布なども検討。

>委員：スポーツ・音楽は周りから盛り上げないと。本物に触れる事は大事。

(2) 西成特区構想について（西嶋区長）

>区：15日に自分がリーダーとなって、市全体のプロジェクトチームを立ち上げた。24年度で調査を行い、25年度から5年間を目途に集中的に予算や人を投入して西成特区構想を実施する。

法に基づいた特区ではなく、いわゆる特区的な扱いをするということ。

アイデアはあくまで例だが、これぐらいは実現して欲しいとの市長の言葉もいただいている。

まだアイデアの羅列のレベルだが、今後局長級のプロジェクトの下に実務者レベルの幹事会を設置し、全体的なコンセプトを出し動かしていく。

区にも特区検討委員会を設置し、プロジェクトと連携しながら進めていくが、区政会議でも様々な団体で活躍されている委員のみなさんのご意見をいただきたいと考えている。

>委員：特区でないと解決できないことに取組んで欲しい。人口構成が悪い、流入を止めるなど公費を投入するだけでは厳しい課題など。

>委員：商店街が分断されている。固めてまちづくりに活かさないか。

>委員：以前とは生活様式が異なるのに、商店街も時代の変化に適応していない。対応できるよう勉強会などを開催しては。

>委員：社会構造の変化、家内工業的なものを底上げしていく必要がある。

>委員：教育バウチャーの言葉が先行しているが、施策として有効なのか分かりにくい。塾に入れる子はいいが、行けない子はどうするのか。区内に入れる学習塾があるのか。

また帰宅時間が遅くなると、子どもの安全が心配。街灯が少ない地域など、防犯面の問題をクリアする必要がある。

イメージアップになる情報発信、特区でいいところ発信していく。子育て支

援、セレッソや大フィルと学校がもっと連携して、西成区でなら一緒にやれるとなればアピールできるのでは。住宅環境を改善し、魅力的な区にしてほしい。

>委員：子育てネットは現在 72 団体が参加している。あいりん地域が問題。

排除ではなく受け入れていくという特区にすべき。釜ヶ崎は排除の歴史だが、排除の思想では問題は解決しない。

障害者ホームレスの問題に対応が必要。障害者会館には対応できる機能があるのでは。

バウチャーは、勉強する子だけの制度設計にならないようにして欲しい。勉強をしたくない子や障害者向けの塾など、排除でない取組みを。

家庭が崩壊し機能していない人を受容れる施設（子どもの里）はもっと必要ではないか。こわれた家庭を支援する仕組みを大事にしていく事も大切。

>委員：昔はものがなかったけど幸せ。今はものがありすぎて不幸

>委員：あいりん、釜ヶ崎があるからイメージが悪い。名称から来るイメージが強い。結婚や就職への差別が戦後から続いている。このまちは作り直すべき。

>委員：労働福祉センターなどの施設は改築の時期。施設を外の地域へ分散させる。分散し徐々に 10 年 20 年かけて若い人、子どもを増やす、明るいまちづくり。

>委員：労働センター、医療センターの役割は終わりではない。

>委員：商店街は近年時の流れに逆らえない。悪化している。後継者不足。頑張らんといかんと思う。外国の方の出店が多いが、日本人も頑張っ欲しい。

>委員：福祉医療の適正化という表現に不満がある。今の状態の医療は適正じゃないのかという印象を持つ。真面目で適正な医療施設が大半。

生活保護の問題、人口の高齢化、子育て支援など西成だけで完結する問題ではなく、もっと大きな国家的に取り組む様なプロジェクトだと思う。

>委員：流入を制限したらいいのかも。でもまたどこかに西成区や大阪市ができる。西成区は交通が至便で立地が良いので流入が多い。1 か所集中は良くないかも。

>委員：区政会議は 1 時間半ぐらい貴重な時間を割いて話をしているのだから、何か出来るようにしてはどうか。

>委員：区内 28,000 人の被生活保護者に対して、民生委員は 300 人、一人 90 人見ている。ケア会議では問題解決の糸口がなく報告会になっている。

>区内で障害者手帳所持者は 11,000 人ほど。障害も様々なケースがあるので、特区でも対応をして欲しい。

>委員：あいりん地域の改善という事で言えば、特区構想には期待があるが、アイデア例にあるような無難な、何処でもできることではなく、一番難しい治安・覚せい剤対策など、本当の安心安全に取り組んで欲しい。

萩之茶屋 1 丁目～ 3 丁目では 65 歳以上が 50% 近く、男性が 98%、15 歳～39 歳の世代がたった 6% である。

高齢者のまちといったバランスの悪いまちになっている。何を解決するのか具体的に絞り込んでいかないと。全体のイメージアップと連動しながら進め、働く事を中心に、生活を確保していく。雇用・仕事・就労を一つのテーマとして入れていかないと解決しない。それと連動しながら総合センター、簡易宿所をどう改善するのが課題。その延長に子ども・教育がある、いきなり子育て世帯を呼び込むと言うのには無理がある。具体的にしっかり整理して、やれるところからやる。

> 委員：あいらんの労働者を排除するのではない。環境改善・ブルーテント・露店・不法占拠・ゴミ・三角公園のゴミの収集が悪い。地域にも色々な人がいる。青パトに乗って地域を知ってもらう。

> 委員：府、府警との連携が必要。市だけでは素人集団なので。

> 議員：この会議で何かを決めるのは難しいと思うが、この場は非常に貴重だと思う。役人ばかりの意見では見えない地域の声分かる。アライバイじゃなくしっかり集約してプロジェクトにつなげる。予算に限りがあるので重点的に何に取り組むかの意思形成過程の場面が重要。

> 議員：結核罹患率が多い事に関連しての意見だが、NPO 法人や社会医療センターなどが結核の発見治療に取組み、10 年間で半減させたのは凄い。ただ値が大きいのでまだまだクローズアップされる。確かにインフルエンザより結核の死亡率が高い。

発見されたら、隔離される、連れて行かれると思えば検診を受けないケースも多い。65 歳以上には検診を義務付ける、受診がなければ敬老優待パスの交付をしない、生活保護に制限を加えるなど、人権や個人情報なども考えながら検討すればよい。

終了 15 時 40 分